

博士前期課程(修士) / 実践看護学領域 / 老年看護学分野

科目コード:250004

老年看護演習 I (慢性期看護) Advanced Seminar I in Gerontological Nursing

担当教員	松本勝、北村言、大橋史弥、幅大二郎				
実務経験	臨床経験のある教員が担当している。				
開講年次	1年次後期	単位数	2	授業形態	講義・演習
必修・選択	選択	時間数	45		
該当ディプロマポリシー	(1)	○	(2)	◎	(3)
Keywords	慢性期疾患ケアの本質、アセスメント、生活支援、リハビリテーション、遠隔看護				
学習目的・目標	<p>長期間の罹患経過のなかで、セルフコントロールをしながら療養する高齢者に対するアセスメントと、生活支援のための高度な看護実践能力を養う。</p> <ul style="list-style-type: none"> 慢性疾患の進行と加齢変化から重複して生じるリスクと、高齢者の力を生かした生活の質の維持の両面から、新たな看護の方法を考えることができる。 慢性期に罹患した高齢者と家族の長期にわたるセルフケア能力と、加齢による変化をアセスメントする事ができる。 生活機能障害のある高齢者への看護援助や、リハビリテーションの知識と技術を身につける。 				
授業計画・内容					
回	内容			授業方法	担当
1-2	オリエンテーション 演習テーマの設定、ディスカッション			講義・演習	松本勝、北村言
3-6	集中講義(演習) 高齢者ケアにおけるシーティング、物理療法、XR技術、エコー、遠隔看護の活用			講義・演習	松本勝、北村言 大橋史弥、幅大二郎
7-8	高齢者に対する可視化に基づく摂食・嚥下ケア			講義・演習	北村言、松本勝
9-14	研修(地域・臨床)(1日 計画・準備・報告書作成含む)			演習	松本勝、北村言 大橋史弥
15-20	研修(学会・講演会等への参加)(1日)			演習	松本勝、北村言 大橋史弥
21-22	まとめ			発表・討議	松本勝、北村言 大橋史弥
教科書					
参考図書等	適宜紹介する。				
評価方法・基準	討議への参加度(40%)、レポート(60%)				
関連科目	老年看護特論、高齢者ケアシステム論、老年看護演習II(認知症看護)				
教員から学生へのメッセージ	エビデンスに基づいた看護実践を提供できる力を身につけていきましょう。				

